

資料1

平成27年度先行実施事業【個票】

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

1	ふるさと団地再生事業	1
2	魅力創造事業	3
3	観光・住宅・結婚のPR媒体をクロスさせた女性を対象とするシティプロモーション事業	5
4	文化振興事業	7

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

5	母子保健推進事業	8
6	男女共同参画推進事業	10

基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する

7	健康づくり推進事業	12
8	地域分権推進事業	14
9	若者政策推進事業	17

基本目標4 新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす

10	商工振興事業	19
----	--------	-------	----

ふるさと団地再生事業実績評価票

基本目標	1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす	施策	①活力ある地域の再生		
事業名	ふるさと団地再生事業	実績額(千円)	親元近居: 24,773 ふるさと団地再生モデル検討: 2,992		
事業概要	親元近居助成(市内に親がいる子育て世代が住宅を取得する場合、登記費用相当額を助成(上限20万円))を実施するとともに、ふるさと団地再生検討支援業務(モデル地域における問題解決を図るための支援)を展開した。				
具体の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親元近居助成制度の実施(128件) ・ふるさと団地(多田グリーンハイツ、大和、清和台)再生モデル検討支援 <ul style="list-style-type: none"> ①多田グリーンハイツ:買い物困難な方を対象としたお出かけ支援バスの運行(2コース、週2日2~4便) ②大和:地域の居場所づくりを目的とした「25cafe」の運営(空家2箇所、店舗空きスペース2箇所で開催) ③清和台:地域のつながり、健幸増進を目的としたCo(幸)ウォーキングの開催(清和台を6地域に分けて、それぞれの地域で月1回実施) 				
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指標名	目標値	実績値	単位	
	指標①	申請件数	120	128	件
	指標②	協議会開催回数	2	2	回
実施効果	効果①	同制度による市外からの転入世帯数	—	58	世帯
	参考				

自己評価	事業効果	<p>親元近居助成制度については、128件の実績があり、流入人口、流出抑制に繋がった。</p> <p>川西市ふるさと団地再生検討支援については、親元近居助成やモデル地域における問題解決を図るための取組みに対する支援意見交換を実施し、情報の共有化が図られた。</p>
	課題と改善	<p>親元近居助成については、助成申請時の書類が多く、申込者の負担が大きい。</p> <p>市内外への同制度の効果的なPRにより、周知を図る必要がある。</p>
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針	事業の継続
	今後の方針の理由	<p>子育て・介護等の共助を推進し、若年世代の流入・定住化をさらに進めるため、また、モデル地域における問題解決をさらに図るべく、事業を継続する。</p>

魅力創造事業実績評価票

基本目標	1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす	施策	④魅力の創造・発信		
事業名	魅力創造事業	実績額(千円)	11,733		
事業概要	定住人口、交流人口の増加を図るため、大阪市中心部におけるデジタルサイネージによる広告掲出やPRポスターの掲示及び住宅、結婚、観光関連サイト等への記事掲載など、都市のイメージアップと定住地としてのまちの魅力を発信するためのPR広報活動を行った。				
具体の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅・結婚・観光関連サイト等への記事掲載等プロモーション委託 SUUMOネット(9月～3月)、じゃらん10月号、ご当地パンフレット「川西じゃらん」1万部10月発行、ゼクシィなび相談カウンター(京阪神)PRパンフレット等配布 ・梅田駅周辺におけるPRポスター掲出 ポスター:12/4～12/10(1週間)、3/21～3/27(1週間) ・梅田駅周辺におけるデジタルサイネージ広告掲出 デジタルサイネージ:11/30～12/20(3週間)、3/21～3/27(1週間) ・情報誌TOKK広告掲載(12月1日号) ・PRポスターB0サイズ(28枚)、寄付金カタログ(3,000部)作成 ・プロモーション用PRグッズ作成(マスクングテープ:1,140個) ・シティプロモーションサイト改修 				
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指標名	目標値	実績値	単位	
	指標①	大阪駅周辺2箇所において、広告掲載延べ週数	5	6	週
実施効果	効果①	SUUMOサイト・ゼクシィDMバナークリック数	—	4,261	回
	効果②	寄付申込者数のうち市のPR広告を見て寄付した人数	—	98	人 (2,359人中)

自己 評価	事業効果	阪急梅田駅周辺において、本市ふるさと納税をテーマとしたデジタルサイネージ広告とPRポスター掲示を延べ6週間行ったところ、広告掲載後の寄付申込者のうち4.2%が広告を見たと答えていることなどから、一連の取り組みが知名度やイメージの向上につながったと考える。
	課題と改善	より効果の高いPR方法やコンテンツを検討し取り組みを進めていく必要がある。
実績値を 踏まえた 事業の 今後について	今後の方針	事業内容の見直し(改善)
	今後の方針 の理由	都市のイメージアップと定住地としてのまちの魅力を発信するためのPR活動を引き続き行っていく。手法については27年度の取り組みを検証し、より効果の高い事業を実施する。また、市内外へのアンケート調査を実施し、これまでのシティプロモーションの取組みの検証と今後の事業展開についての検討を行う。

観光・住宅・結婚のPR媒体をクロスさせた女性を対象とする シティプロモーション事業実績評価票

基本目標	1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす	施策	④魅力の創造・発信	
事業名	観光・住宅・結婚のPR媒体をクロスさせた女性を対象とするシティプロモーション事業	実績額(千円)	3,545	
事業概要	子育て世代の定住促進を目的として市内外への魅力発信を行うため、知名度の高い観光雑誌への記事掲載や、地域を応援しようとする人が発信・交流できるSNSシステムを導入した。			
具体的実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光関連情報誌への記事掲載等プロモーションの実施(じゃらん4月号) ・ご当地愛フェイスブック導入委託、PRリーフレット(2,000部)作成、PR協力グッズ(クリアファイル:2,000部)作成 			
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指標名	目標値	実績値	単位
	指標①	「ご当地愛フェイスブック*」登録者数	200	63 人
	指標②	じゃらんにより掲載店などへ来訪した人数	1店舗・施設あたり 100	80 人/月
	指標③	市公式シティプロモーションサイトへのアクセス数(前年度 3~5月 26,000アクセス)	40,000	32,924
実施効果	効果①	新規来店者が増えたと回答した店舗数:	—	4 店舗
	効果②	平均来店・来場者数	—	35 人/日
	参考	じゃらん3月号に2ページ掲載		

自己評価	事業効果	<p>「ご当地愛フェイスブック」については開設が2月下旬であったため、登録者数は指標値に届いていないが、登録者が顔を合わせる交流会を実施し、市内で様々な地域活動をする女性達がつながる場となった。</p> <p>「じゃらんにより掲載店などへ来訪した人数」についても、掲載店舗等(12店)の3割(4店)が新規来店者が増えたと回答していることや、シティプロモーションサイトへ掲載した「じゃらん」川西市PRページへのアクセス数が13,000件を超えていることなどから、一定の効果があったものとする。</p>
	課題と改善	<p>「ご当地愛フェイスブック」による情報の拡散効果を高めるため、登録者、投稿、いいね数等のさらなる増加を図る必要がある。</p> <p>じゃらん等への掲載については、市民にも十分に周知し、市民による口コミなどPRを強化する必要がある。</p>
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針	追加等更に発展させる
	今後の方針の理由	<p>引き続き「ご当地愛フェイスブック」のシステムを活用し、市民等による市の魅力発信を行っていく。</p> <p>また、市公式シティプロモーションサイトについても、メインターゲットである20～30代の女性が興味を持つコンテンツや、女性の活動支援につながる情報を充実させていく。</p>

文化振興事業実績評価票

基本目標	1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす	施策	④魅力の創造・発信		
事業名	文化振興事業	実績額(千円)	6,000		
事業概要	アーティストをめざす若者に発表の場を提供するとともに、オーディションを開催し、本市における新たなにぎわいと魅力を創出する。				
具体的実施内容	オーディションを開催し、優勝者には、1年間の音楽サポートが与えられる。公式HP、twitter、川西市Facebook、広報など、広くPRした。				
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指標名	目標値	実績値	単位	
	指標①	エントリー数	250	191	件
実施効果	効果①	来場者数	—	350	人
	参考	・来場者数:H25 300→H26 330→H27 350と回を重ねるごとに来場者も増え、認知度も上がった。			
自己評価	事業効果	第1回(105人)から倍増した第2回のエントリー数(213人)を第3回でもほぼ維持し(191人)、川西能勢口駅前でもPR効果を得るため、TSUTAYAの宣伝協力を得ながら、PR活動を展開した。			
	課題と改善	市内での文化振興を目的として実施してきたが、エントリーは第2回で頭打ちとなり、第3回では若干減少した。とりわけ、市民のエントリー数がH25:19%→H26:9.4%→H27:7.3%と減少傾向にあることから、市内における人材の発掘、文化振興に直接的に寄与する形で制度を見直す必要がある。			
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針	事業の中止			
	今後の方針の理由	一定の成果が見られたと考えるが、アーティストの選考、養成といったこれまでの事業の実施方法等を整理した上で、今後の施策展開を検討する。			

母子保健推進事業実績評価票

基本目標	2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策	②出産支援		
事業名	母子保健推進事業		実績額(千円)	150千円	
事業概要	妊娠から出産までにかかる経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境の整備を推進することで、出生者数の増加に繋げるため、妊婦健康診査費助成額の引き上げ(+10,000円)を行い、助成券を作成し、対象妊婦に配付した。				
具体の実施内容	妊婦健康診査に係る助成券(80,000円分)を作成し、対象妊婦に配付した。				
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指標名		目標値	実績値	単位
	指標①	妊婦健診対象者数	1,180	1,182	人
実施効果	効果①	妊婦一人あたりの平均助成回数	—	13.1	回
	効果②	妊婦一人あたりの平均助成総額	—	69,677	円
	参考	H26:平均助成回数:13.5回 平均助成総額:65,071円 ※妊婦健康診査費助成事業において、平成27年度中に助成を受けている方の内、流・早産、妊娠中の途中転入・転出を分かる範囲除外した、利用済みの方の利用状況			

自己 評価	事業効果	平成26年度の妊婦一人あたりの平均助成回数は13.5回と横ばいであるが、平均助成総額は65,071円から増えており、妊娠から出産までにかかる経済的負担の軽減に繋がったと考えられる。
	課題と改善	妊娠から出産までにかかる一般的な費用や他市の助成状況を見ながら、検討していく必要がある。
実績値を 踏まえた 事業の 今後について	今後の方針	事業の継続
	今後の方針 の理由	妊婦健康診査費助成額の引き上げを行ったことで妊娠から出産までにかかる経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境整備の推進、出生者数の増加に繋げることを目標とし、引き続き助成事業を継続する。

男女共同参画推進事業実績評価票

基本目標	2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策	⑤女性が働きやすい環境づくり	
事業名	男女共同参画推進事業	実績額(千円)	70	
事業概要	①「(仮称)男女共同参画カレッジ開講に向けて<ワークショップ>講座」を開催した。 ②カレッジ参加者のニーズを知るために、希望する講座内容・回数等に関する「(仮称)男女共同参画カレッジ<アンケート>」を実施(回答数294人)した。 ③男女共同参画審議会で「(仮称)男女共同参画カレッジ」の内容・方向性についての助言をもらった。			
具体の実施内容	・「(仮称)男女共同参画カレッジ」開講に向けたプレ講座(2回)として、NPO法人SEAN理事長の小川真知子さんを講師にワークショップ形式で開催			
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指標名	目標値	実績値	単位
	指標①	講座参加人数	50	14 人
実施効果	参考	ワorkshop形式によるプレ講座の開催やアンケートを実施することにより、カレッジ開講に向けたニーズを把握することができた。 Q1. 希望する講座について ・高齢者や病人の介護・介助に関すること(18%) ・子育て期のパパ・ママへの支援に関すること(15%) ・ワーク・ライフ・バランスに関すること(12%) ※介護、子育て、ワーク・ライフ・バランスといった自分とのかかわりのある内容の講座を希望されることがわかった。 Q2. 適正な講座回数について ・1回(27%) ・2～3回(41%) ・4～5回(12%) ・5回以上(4%) ※適切な開催は2～3回程度であることがわかった。		

自己評価	事業効果	カレッジに関する内容などのPR不足のため、講座への参加人数は少なかったが、ワークショップ方式で開催することにより、参加者から具体的なニーズを把握することができ、平成28年度からの「(仮称)男女共同参画カレッジ」の開講に向けての参考となった。
	課題と改善	アンケートを実施することにより、「(仮称)男女共同参画カレッジ」における講座についての内容(カリキュラム等)・対象者・開催時間・開催場所などについて具体化することができた。 また、今回のプレ開催を踏まえ、参加者の募集に際しては、カレッジに関する内容(目的・カリキュラム等)の事前周知、PRを図り、多くの方が受講できるように工夫する必要がある。
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針	追加等更に発展させる
	今後の方針の理由	男女共同参画社会の実現に向け、男性・女性の生き方や働き方などを体系的に学ぶ機会を提供する「(仮称)男女共同参画カレッジ」を本格的に開講し、内容の充実を図ることにより、女性の社会進出の促進を図る。

健康づくり推進事業実績評価票

基本目標	3 地域のきずなを深め 多世代交流を促進する	施策	①健幸づくりの推進	
事業名	健康づくり推進事業	実績額(千円)	1,113	
事業概要	市民の健康づくりの動機づけと運動習慣の定着を促し、生活習慣病予防をはじめ、市民の健康づくりを推進するため、「きんたくん健幸体操」を考案し、普及啓発に努めた。			
具体の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Let'sきんたくん健幸体操19回延べ800人 ・きんたくん健幸体操講習会3回151人 ・きんたくん健幸体操リーダー養成講座4回(22名養成) ・Let'sきんたくん健幸体操in公民館7回124人 ・きんたくん健幸体操地域派遣:16回 延べ1,105人 ・リーダー派遣35回 延べ1,926人 ・オリジナルTシャツ作成し、きんたくん健幸体操リーダーが着用 ・オリジナル缶バッジを講習会参加者等へ配布 ・ポータブルDVD、プロジェクター、DVDプレーヤー購入し、地域での普及啓発時に使用。貸し出しも可。 ・リーフレット2,000枚増刷 ・DVD、音源CD配布 			
本事業 における 重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	目標値	実績値	単位
	指標①	体操推進員養成 者数	100	22 人
実施効果	効果①	健幸体操参加者 数	延べ1,926	人
	参考	<p>【開催回数】 養成講座4回開催し22人のリーダーを養成した。そのきんたくん健幸体操リーダーを各地に派遣。 派遣回数:35回 参加人数:延べ1,926人</p> <p>【効果】 リーダー派遣後参加者が、きんたくん健幸体操の目的を口コミで広げる等自主的に体操を実施されるようになった。さらに、体操の参加人数が増加したため、会場に入りきらず、2つの会場で実施するなど市民生活に体操を徐々に根付かせることができた。</p>		

自己評価	事業効果	<p>養成講座4回実施し、体操推進員(きんたくん健幸体操リーダー)22名を養成することができた。</p> <p>このリーダーを中心に、市保健センター、公民館において健幸体操を実施した。また、各地域の行事にリーダーを派遣し、さらに、ポスター、リーフレット等を作成する等「きんたくん健幸体操」の普及活動を進めたことにより、市民の健康づくりを推進することができた。</p>
	課題と改善	<p>きんたくん健幸体操の更なる普及啓発に取り組むため、きんたくん健幸体操リーダーのスキルアップや新たな人材養成について、検討していく必要がある。</p>
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針	追加等更に発展させる
	今後の方針の理由	<p>「きんたくん健幸体操」の更なる普及啓発を図るべく、活動範囲を拡大し、幼稚園や保育所、高齢者の集いなどでも活動を展開するなど、子どもから高齢者までのあらゆる年齢層の方々が気軽に取り組めるように事業を展開するとともに、リーダーのスキルアップを図るため、随時講習会実施していく。</p>

地域分権推進事業実績評価票

基本目標	3 地域のきずなを深め 多世代交流を促進する	施策	②自主的な地域づくり	
事業名	地域分権推進事業	実績額(千円)	32,913	
事業概要	<p>第5次総合計画に位置付けた、住民自らの発意で地域のありたい姿を掲げた「地域別構想」を実現するため、地域分権制度を導入したコミュニティ組織が行う事業をとりまとめた「地域別計画(3ヶ年)」を策定し、その計画の具現化を図ろうとしているコミュニティ組織に対して「地域づくり一括交付金」を交付した。</p>			
具体の実施内容	<p>9つの小学校区単位のコミュニティ組織に対し、地域別計画をもとに自主的・主体的に取り組まれる地域活動に対する支援として、地域づくり一括交付金を交付した。 また、地域別計画に沿った地域課題解決のサポートにあたっては、地域担当職員・地域づくりアドバイザーによる支援を行った。</p>			
本事業 における 重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	目標値	実績値	単位
	指標①	コミュニティ組織 が一括交付金を 活用して実施す る新規事業数	38	29 件
	指標②	参画団体数	260	260 団体

実施効果	効果①	<p>・29事業の内容と効果</p> <p>【主な事業内容】 ①加茂 ・「花いっぱい大作戦」地域の環境が豊かな街プロジェクト ・高齢者向け交通教室 ・加茂遺跡周辺スタンプラリー ②多田 ・猪名川を活かした多世代交流ができるまちプロジェクト(河川の清掃活動、アユの稚魚放流体験など) ③多田東 ・青パト配備 ④緑台・陽明 ・GH交流会(若手世代意見交流会) ・高齢化に伴う移動手段の確保(ワゴン車によるお出かけ支援、見回り支援) ⑤東谷 ・東谷農業振興協議会の設立 ・収穫祭の実施(JA、農業団体等と連携)</p> <p>【効果】 これらの事業により、地域の資源や人材等を活かした事業を実施することができた。</p>
	効果②	<p>・260団体の主な活動内容と効果</p> <p>【活動内容等】 【260団体の内訳】 自治会、地区福祉委員会、自主防災会、青少年市民会議、人権啓発推進委員会など</p> <p>※組織を構成する各種団体の活動は主に下記の2種類 1 単独で行う団体独自の活動(これまでのコミュニティ活動と同様) 2 地域内の自治会や各種団体と互いに連携・役割分担し、各部会や委員会等の場を通して、コミュニティ組織の活動の一環として行う活動 → 「防災、防犯に関すること」「相互の親睦に関すること」「住民自治意識の高揚に関すること」等</p> <p>【効果】 区域の主要な団体等がコミュニティ組織の運営に参画し、それぞれの地域が抱える課題を解決し、住みよいまちづくりを進めるための事業が展開された。</p>
自己評価	事業効果	<p>14コミュニティのうち、同制度の初年度である27年度から9つのコミュニティ組織において、交付金の活用が始まり、構成員(住民)が地域課題を解決するため、多数の参画団体と協働の上、展開する活動に対し、支援した。</p>
	課題と改善	<p>各コミュニティ組織においては、新規事業等を実施するにあたり、担い手の確保に苦慮している。 今後は、更なる情報共有を図りつつ、構成団体として必要不可欠である自治会の会員確保と円滑な運営や継続的な活動を促進する必要があると考えている。</p>

実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針	追加等更に発展させる
	今後の方針の理由	<p>平成28年度は、残り5コミュニティ組織のうち、新たに4地域のコミュニティ組織が、同制度を活用した活動を展開する予定であり、新規事業数や参画団体数の増加が見込まれる。</p> <p>また、コミュニティ組織を形成していなかった地域においても、同制度の開始を契機として、コミュニティ組織を形成し、地域分権制度の導入に向けた話し合いが進められているため、今後は地域の取組みの実現に向けて、市からの強力な支援を行っていく段階であると考えている。</p>

若者政策推進事業実績評価票

基本目標	3 地域のきずなを深め 多世代交流を促進する	施策	③つながり支え合うまちづくり		
事業名	若者政策推進事業		実績額(千円)	1,240	
事業概要	ひきこもりや不登校等の悩みを抱える若者と、その保護者を対象とした相談窓口を月4回実施した。				
具体の実施内容	アステ市民プラザにおいて、月4回相談窓口を開設し、その運営をNPOに委託				
本事業 における 重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		目標値	実績値	単位
	指標①	相談申込件数	130	24	件
実施効果	効果①	社会生活を営むことができるようになった若者の人数	—	2	人
自己 評価	事業効果	本人が相談に訪れた結果、若者キャリアサポート川西などとの連携により、アルバイトではあるが2人の若者が社会生活を営むことができるようになった。			
	課題と改善	ひきこもり相談は保護者から当事者に繋ぎ次回は親子で相談に来所することで支援が始まるが、2回目の相談が少なかったことや、支援を必要としている若者への周知方法がチラシや広報誌のお知らせのみであったため、相談件数は目標よりも大幅に少なくなった。 また、多くの保護者の相談内容はひきこもり歴の長期化や精神疾患に関することが多く、具体的な支援策を講じることが少なかった。 相談窓口に対する問い合わせも少なく、今後は実際に悩みを抱えている若者と繋がるためのアプローチの手法と合わせて、広報の方法についても検討する必要がある。			

実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針	事業内容の見直し(改善)
	今後の方針の理由	実績を踏まえ相談窓口の開催回数について検討した結果、回数を削減(月4回→2回)した上で、広報の方法や再度相談できる体制、保護者を通じて本人に相談へ来るように促す仕組みを改めて検討する。

商工振興事業実績評価票

基本目標	4 新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす	施策	②新たな仕事と雇用の創出
事業名	商工振興事業	実績額(千円)	2,944
事業概要	新たな事業や商品開発に対し、補助を行うことで、新規・既存事業者の起業支援及び雇用の創出を図った。		
具体の実施内容	<p>・川西市提案公募型地域経済活性化事業補助金制度:1件(1,500千円) (新たな事業を展開する事業者に対する補助制度) 【助成事業の概要】 マタニティ整体事業(事業者名:コモド) 妊娠期、産後の女性の身体の痛みや疲労の軽減、核家族化により、孤立育児で心身ともに疲弊した母親たちへ、整体とカウンセリングで精神的サポートを行い、心身ともに穏やかに育児を楽しめるように支援する事業。 【具体的事業内容】 託児サービスの実施、整体師の雇用、整体師養成スクールの開講。</p> <p>・川西市新商品開発等事業者補助金制度:4件(1,444千円) (新たな商品開発を行う事業者に対する補助制度) 【助成事業】 源氏うどん(事業者名:川西商店連盟) ・源頼光の大江山の鬼退治の故事をモチーフに表現。 ・売上実績:源氏まつりで販売し、予定数160食分が完売。 ・今後、さまざまなイベントで出店予定。 ・川西市内の飲食店での源氏うどんのメニュー化を交渉中。 ・夏メニューの冷やし源氏うどんを開発。今後のイベントで販売予定。</p> <p>若桃コンポート(ワイン漬け)(事業者名:イロハジャパン) ・6/23の桃の即売会で一般販売を開始。即売会会場での販売では、予定数50個を完売。 ・JA関連の贈答品として500個の予約を受け付けた。 ・今後ネット販売を予定。 ・健幸マイレージの商品に登録。</p> <p>菊炭(事業者名:アールコーポレーション) ・今までの売り上げ個数:約35個 ・今後、ふるさと寄付金の商品に追加される予定。 ・現在ネット販売のみだが、中心市街地内のお店で取り扱ってもらえるように交渉中。</p> <p>壺熟カレー(事業者名:川西能勢口振興開発) ・5つ星ひょうご認定を機に、販売促進を図る、パッケージ及びチラシの刷新。 ・販売箱数4,339箱(前年比2,169箱増)</p>		

本事業における 重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		目標値	実績値	単位
	指標①	地域経済活性化 事業提案件数	1	1	件
	指標②	新商品開発申請 件数	4	4	件
実施効果	効果①…1	新たな雇用		6	人
	効果①…2	後継者育成数		2	人
	効果②	売上数		4,339	箱
	参考	<p>【提案公募型地域経済活性化事業補助制度】 ①従業員はフリーランスの保育士等(川西市在住)に委託、②は整体師の育成</p> <p>【新商品開発等事業者補助金制度】 ②売上:代表的なものはKSKの壺熟カレーの商品改良の事例。 H24:210箱 H25:5,230箱 H26:2,170箱 H27 4,339箱</p>			
自己 評価	事業効果	<p>提案公募型地域経済活性化事業補助金においては、採択により新たな雇用の創出及び後継者の育成につながった。 また、新商品開発等事業者補助金では、この制度の活用によって、売上が伸びる等の効果が得られた。</p>			
	課題と改善	<p>補助制度の活用を促進するため、商工会等の協力のもと、説明会等を実施し、事業者等の自助努力を促していく必要がある。</p> <p>商工会等との連携の下、事業者に対する補助制度の活用を促進するとともに、事業を継続的に実施する必要がある。</p>			
実績値を 踏まえた 事業の 今後について	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針 の理由	<p>しごとサポートセンターやNPOと連携して実施する若者の就労体験事業やNPOと連携して実施する女性の起業支援事業との関連性が強く、就労・起業から商品開発、事業拡大といった一連の事業の中で、連携による相乗効果が見込まれるため、事業を継続する。</p>			